

日本のジャージーの歴史

大蔵省がアメリカから純粋種を輸入（雄1頭、雌2頭）

「日本帝国ジェルシー種牛協会」発足 **登録協会の先駆け！**



「ゼ アウルス クイーン 号」 1903年(明治36年)1月5日生
1908年(明治41年)にアメリカから購入 初産乳量3,310kg(365日)
(愛光社 角倉賀道氏)

「日本ジャージー登録協会」発足

「全国ジャージー酪農振興協議会」発足

この年度の登録申込件数が初めて**1,000**頭を超える！

1877年（明治10年）

1887年（明治20年）

1898年（明治31年）

1908年（明治41年）

1914年（大正3年）

1953年（昭和28年）

1956年（昭和31年）

1968年（昭和43年）

1972年（昭和52年）

1991年（平成3年）

2021年（令和3年）

1908年から113年、雌牛の血統登録頭数が累計 **50,000** 頭突破

神津邦太郎氏、群馬県に西洋式のジャージー牧場開設（神津牧場）

北海道で初めて、宇都宮仙太郎牧場にジャージー導入

上野で開催された「大正博覧会」にジャージー牛8頭出品

国民の食生活向上のため、国有貸付事業がスタート。1960年までに12道県12,414頭が導入

- 第1回全日本ジャージー共進会が岡山県川上村(蒜山地区)で開催
- 1908年から60年、雌牛の血統登録頭数が累計 **10,000** 頭突破



SF ドレーパー チェリー 決定得点92-2E(7-01)
所有者 株式会社エスティリアデイルーサービス
(写真提供 ホルスタイン・マガジン社)

飼養頭数の多い都道府県ベスト5

（牛个体識別全国データベース、令和7年3月末現在）

①北海道
♀ 3,690頭

ホルスタイン 1,284,680頭
ジャージー 11,035頭
※ホルスタインの 0.9 %

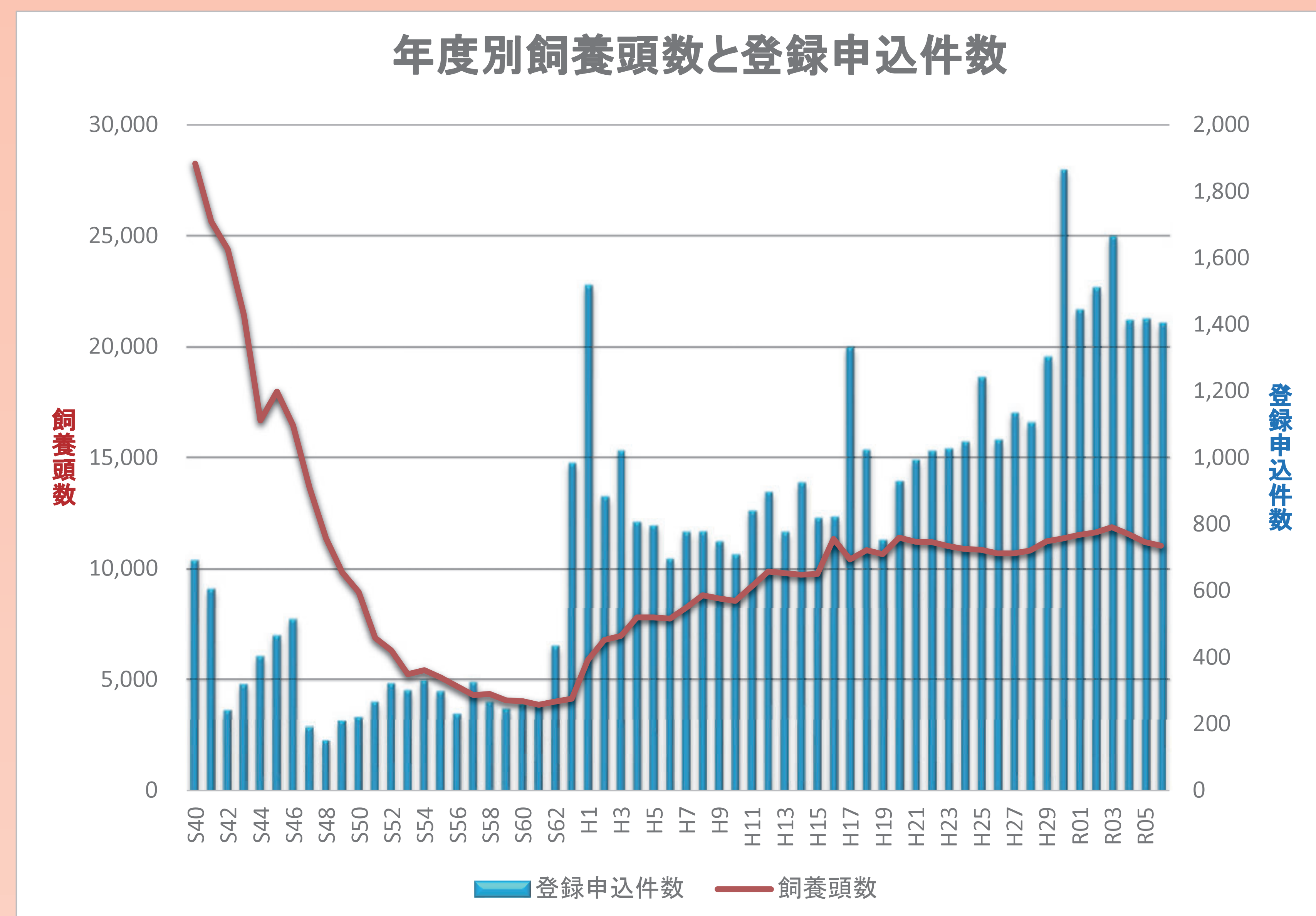
②岡山県
♀ 1,493頭

④岩手県
♀ 607頭

⑤長野県
♀ 502頭

③熊本県
♀ 1,117頭

飼養頭数・登録申込件数は徐々に増加中！



日本および各国の泌乳能力の推移（2021年）

	検定頭数	305日乳量	乳脂肪%	乳蛋白%
日本	3,013	6,625	5.03	3.98
アメリカ	342,754	9,401	4.87	3.72
カナダ	12,987	7,259	5.14	3.88
オーストラリア	41,409	5,539	4.86	3.72
英国ジャージー島	2,399	6,448	5.51	3.85

※ICAR（家畜の能力検定に関する国際委員会）調べ

日本ジャージー登録協会